

<新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業（2024年度）>

HAP併用型二相式アナモックス技術を適用した高効率メタン発酵消化液処理技術の開発

1. 事業概要（バイオマス利用促進分野、フェーズC）

〔内容〕

- HAP併用型二相式アナモックス技術の実用化を目指す。

〔背景・経緯〕

- バイogasプラントにおいて、メタン発酵消化液の窒素処理に費用が高くなる等、バイオガスプラントの普及が進まない。

〔狙い、波及効果〕

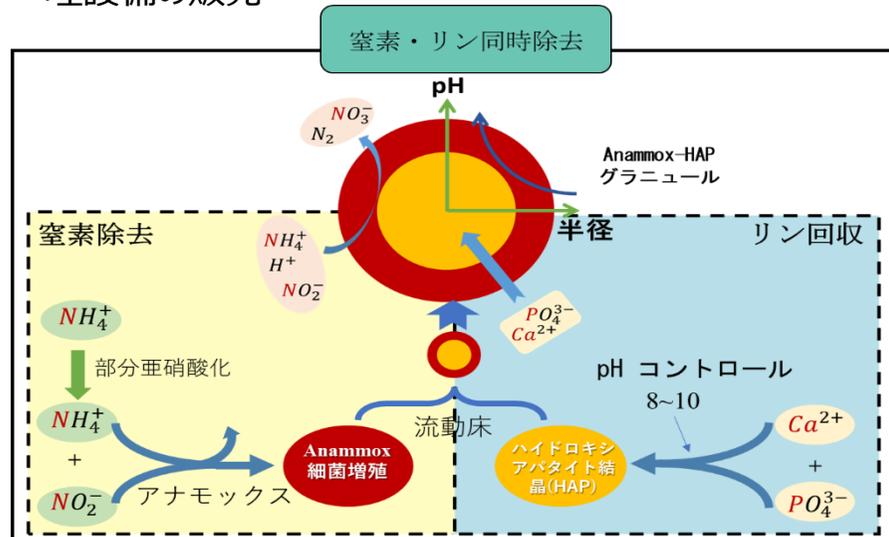
- メタン発酵消化液処理費用の低減
- バイogasプラントの普及推進による脱炭素社会への貢献

〔事業化〕

- 新設及び既設のバイオガスプラントにおけるメタン発酵消化液処理設備の販売

2. 株式会社アステック

| | |
|--------|--|
| 本社所在地 | 兵庫県姫路市実法寺105 |
| 設立／資本金 | 1985年/48,000千円 |
| 従業員数 | 28名（令和6年2月現在） |
| 事業内容 | 水処理材の開発・製造・販売、水処理機材の製造・販売・リース・レンタル、水質浄化ソリューション、資源リサイクル、太陽光発電（メガソーラー）事業、保守点検・運転管理サービス |



3. その他機関

機関名：株式会社バイオガスラボ（共同機関）

- 機能性微生物の保存方法についての検討等を担当

機関名：国立大学法人東北大学（共同研究先）

李玉友教授（大学院工学研究科）

- パイロット規模処理試験装置の日常運転管理、スタートアップの効率化検討等を担当